

新 しん 緑 みどり ニュース



病院の理念

確かな医療技術
やさしい対応
地域への貢献

さんきかい よこはましんみどりそうごうびょういん
医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院
〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7
TEL. 045-984-2400(代表) FAX. 045-983-4271
地域医療連携室 TEL. 045-984-6216(直通)



新年のご挨拶

病院長 小田 瑞彦

新年明けましておめでとうございます。

昨年のオリンピックで日本は過去最高のメダル数41個を記録しました。今回はなぜ好成績を残せたのか…最近の選手は国際試合を多く経験し、ランキング制により世界における自分の位置が認識できたため、堂々と戦えるのだとある記事に書いてありました。その通りだとすれば、もともと日本人は体力的にも優れたものを持っていたのかもしれない。

また、日本人は3年連続してノーベル賞を受賞しました。21世紀の自然科学分野に限定すると、日本は世界第2位の受賞者数15人を数えます。つまり、日本人は体力・知力において優れた国民であると言えます。この日本人の能力を信じ、私たちは良質の医療を続けていきたいと思っております。

さて、当院では昨年7名の医師が入職しました。

元昭和大学藤が丘病院教授の森 啓医師の入職により、血液内科を新しく標榜できました。整形外科では、関節専門の平出 敦夫医師の入職により6月から『関節機能再建センター』が開設されました。さらに脊椎疾患専門の川村 耕平医師が入職し、整形外科領域の診療の幅が広がりました。循環器内科は、山田 大介医師、佐々木 大輔医師の入職によって体制が固まりつつあります。脳外科は野田 昌幸医師の入職により、血管内治療が本格化しました。消化器センターは三浦康誠医師の入職により外科が5名となり、消化器内科と共に更に充実した診療体制となりました。

全員が中堅からベテランの医師で、今後の活躍を大いに期待しております。

また、昨年4月から地域包括ケア病棟が新しく開設され、医療サービスの質の幅が広がりました。病理検査室がスタートしたことも、診療の質のレベルアップができたものと思います。

私たちは地域が必要とする医療を提供していくために、今後も新たなことにチャレンジし、医療の質の向上に努めてまいります。そして、近隣の医療・介護機関との連携を深め、地域に貢献できるよう頑張りたいと思います。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。



糖尿病教室 開催案内

糖尿病診療に関わるスタッフが、糖尿病について分かりやすく説明します。糖尿病の方、ご家族の方、糖尿病でなくても気になる方は、どなたでも参加できます。

参加をご希望の方は、お気軽にご連絡ください。お問合せ：045-984-2400(代)



1月23日(月)	糖尿病の基礎知識	医師
1月30日(月)	薬物療法/食事療法	薬剤師/管理栄養士
2月6日(月)	日常生活について/運動療法	看護師/理学療法士

- 時間 14:30~15:30
- 場所 3階職員食堂
- 受講料 無料

糖尿病教室 QRコード





部門紹介 2016 | システム管理室

システム管理室は、病院全体のシステム管理や新たな機器導入時のサポート、院内のパソコンヘルプデスクなどを担当する部署です。

部署として直接患者様に接する機会は殆どありませんが、診療業務を支える重要な役割を担っています。患者様や病院職員とコンピューターシステムとを繋ぐ橋渡しとなり、日々の病院業務が円滑に行える環境を整備する事を意識して業務にあたっています。

一口にコンピューターシステムと言っても、電子カルテや医事会計をはじめ各種検査や撮影といった病院機能に直結したのから、職員の勤怠など事務管理に係るものなど多岐にわたります。また、機器導入サポートは小さなものはデジタルカメラのメモリーカード、大きなものは放射線撮影装置と非常に幅が広いので、院内各部署との連携や情報の共有が欠かせません。

システム管理室としては、今後、講習等で病院職員のコンピューター活用技術のレベルアップを図り、業務効率の向上をサポートする事で、病院としての医療の質や患者様満足度の向上に関わって行くことを目標としています。



「うさぎ会」主催 料理教室を開催しました

12月3日十日市場地区センターにて、糖尿病患者会「うさぎ会」主催の料理教室を開催しました。男性4名、女性9名が参加し、「カルシウム強化のためのひと工夫」と題して、豆腐のピカタ・小松菜の和え物・切干大根のピクルスを作りました。



参加者からは「交流が図れて良かった」「味付けを見直すきっかけになった」「こんなに多く食べられると希望が湧いてきた」など、とても好評でした。今後も皆様に喜ばれるイベントを企画してまいりますので、是非ご参加下さい！

※参加された方に写真掲載のご承諾をいただきました。



シリーズ健康豆知識 * カルシウム ② 上手なとり方 *

カルシウムを体のなかで効果的に活用するためのポイントを2つ紹介します。

- ①腸でカルシウムの吸収を促す効果があるビタミンDを一緒にとることです。
- ②カルシウムが骨に取り込まれるのを助けるビタミンKを一緒にとることです。

丈夫な骨を作るために、ひと工夫取り入れてみましょう！

- 【ビタミンDを多く含む食品】 + 【カルシウムの多い食品】
 鮭・かつお・カレイ・さんま・しらす干し 副菜に青菜・ひじき・切干大根など
- 【ビタミンKを多く含む食品】 + 【カルシウムの多い食品】
 納豆・青菜類・ブロッコリー 一緒にしらすや桜えびを和える



栄養科 管理栄養士 大平 真衣

平成29年 みんなの健康講座 主催：横浜新緑総合病院 ※参加費無料

平成29年1月21日(土) 「脱腸」～意外と多い脱腸、もしかすると…～
講師 横浜新緑総合病院 消化器センター 平山 亮一 消化器外科 医長



会場 十日市場地区センター 2階中会議室 (十日市場駅より徒歩5分) 時間 午後1時30分～2時30分
お問合せ 地域医療連携室 045-984-6216 (直通) 045-984-2400 (代表)

平成29年2月18日(土) 講師 横浜新緑総合病院 眼科 下山 玲子 副部長
シリーズ糖尿病 第20回 「糖尿病網膜症で失明しないために！」



当院の詳細はホームページをご覧ください <http://www.shinmidori.com/>

QRコード→